

■米国：Google、GMなどが再エネ購入促進のための連携を強化

環境・エネルギー情報サイトは2019年3月28日、Google、GM、ウォルマートなど大手企業が再生可能エネルギーを容易に調達できるよう、連携を強化すると報じた。これらの企業はRE100にも登録しており、それぞれが再生可能エネルギー調達を行っているが、今回の取り組みは「再生可能エネルギー購入者連盟（REBA：Renewable Energy Buyers Alliance）」と呼ばれるものである。REBAは2014年にWWFなど環境NGOが主導する形で活動を開始したが、今回の報道によるとGoogleなどの企業が主導することになっており、加盟する企業数は米国内で300社に達する。具体的な取り組み内容は触れられていないが、再エネ購入に興味を持つ企業が増えているため、このような企業を支援すると考えられ、2025年には6000万kWの購入を目標とする。